

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

號八三三第・日三十月九輯編局報情

週報 眞寔



札立の時
 小路の奥で
 細々軍手をつくるのも
 大切な仕事だ
 人に知られぬ数々の努力が
 飛行機を飛ばし、船を走らせてゐる

軍手の製造に懸命な主婦。越は東京都
 深川區清澄町興亞軍手有限會社。看取
 だけはいかめしいが作業場は往時城が
 十畳ほど。しかも人手不足で三番の機
 は休んでゐた

大和撫子

前線では女子の働きを待つてゐる

女子も戦争に参加することは、日本では昔からあたりまえのこととされてゐる。戦時時にははその仕度や身振づくりに女子、子供の役割とされてゐた。戦を共に武士と共に討死した女性も数多くある。この建前は近代戦だからといって頭取くづれたわけではない。戦争が激しくなると、男子はどしどし武器をとつて戦争にゆく。あとに残つた女性がつかりした覚悟で銃後を守るのは當然の責務である。「一軍兵士、火の用心、おせん況かすな、馬肥やせ」これは戦國の昔、前線から銃後に對する要求を質に體前にいつたものであるが、現在ではこれだけでは到底間に合はなくなつた。さらに重大な、さらに重要なことを前線は銃後に、殊に女子に要求してゐる。現在、戦争を遂行するには莫大な物資が必要。兵隊一人が戦闘するには、銃後で十人の人がこれに必要な軍需物資をつくらねばならぬといはれる。つまり、一千万の軍隊のためには一億の生産戦士が必要なのだ。ではこの生産戦士には誰がなるか。男子はどん／＼戦場を離れて戦場にゆく。後に残つた男子だけでは間に合はぬ。それでどうして

も女子だ。しかも男子のお手傳ひとか、協力とか、そんな生身しいものではない。生身として當るものは女子といつてもよくなつた。即ち戦争の勝敗を決する後方補給の鍵はすでに女子の掌中に移つたのだ。實に大變な役目だ。しかも、どうしてもやりかねばならぬ。もちろん、すでに女子はどしどし／＼動員されてゐる。前年の秋以来、結成出動した女子挺身隊員も、はや數十方に達してゐる。殊に九月二十三日には女子挺身隊令とその施行規則が公布されて、女子の出動に法的な根拠が與へられ、女子の動員は一層強化された。この勅令によつて、女子の動員に對する方々や養育も目ざと變つて來よう。これまで上流階級に多いなどといはれてゐないけれども、挺身隊のなかには一層さすれば幸ひである。盟軍ドイツはもちろん、敵米英ソ聯では女子の大動員が行はれて、すでに銃後生産の中心をなしてゐる。これに比べると、わが國は木だしの感が深い。この女子挺身隊令によつて、將來、女子挺身隊がどう變つてゆくかを説明する前に、まづ交戦各國の女子動員の實情を紹介して、一層の反省を加へよう。

交戦各國の女子の動員ぶり

まづ盟軍ドイツだが、ドイツが戦争目的達成のため一番懸念されてゐたのは人的資源の不足であつた。戦争の進展とともに國內の人的不足と労働力の不足が、さらに顕著して來たのはいふまでもない。それでその最も大きな政策の一つとして考へられたのは、國內女子労働力の利用である。昨年のスクーリングラド戦後、男女勞務總令（女子は十七歳より四十五歳まで）と、不意際閉鎖令の制定實施によつて、女子労働の徹底利用が期されたが、今年七月二十日、ヒトラー總統詔勅事件を契機として『報こせ動員令』が行はれ、女子の動員年齢は五十歳まで引上げられた。しかも、國內にゐる外人僱傭はすべて軍需工場に振り向けられるほか、ドイツ人で僱傭として働いてゐる者を一部は軍需工場へ振り向け、他は特に子供が多く僱傭を必要とする家庭に回るといふ徹底ぶりである。次にソ聯だが、勞務法による女子の動員年齢は十六歳より五十四歳までとなつてゐる。現在、勞働に動員されてゐる女子の總数は三千万に達するものとされてゐる。しかもこれらの女子が軍需生産のあらゆる方面で男子に劣らぬ重要な役割を果してゐることは、誰もが認めてゐることである。ソ聯が盟軍ドイツの猛攻に屈せず、遂に獨逸を切り抜けた力の三分の一はソ聯の女子に負ふものであるといはれてゐる。

盟軍國ではその勞務動員の特色が女子の動員にあるといはれる。盟軍國に女子の動員が盛んである。その實情を概観すると、現時の勞務も動くことと女子の動員は並進してゐるといふ。十八歳以上四十歳までの未婚女子の動員率五十一・七パーセント、小兒を持つてゐない既婚女子の八十二・九パーセントに動員してゐるといふ。この数字の背景には、十八歳から二十歳までの未婚女子は十歳以下の子供のない既婚女子で、すでに八十五歳以上の女子は五十四歳までの未婚女子が動員されてゐるといふのは、戦時國でも人的資源の枯渇はさう深刻ではない。昨年七月現在で、女子の一般勞務動員率は約二十七・七パーセントで、そのうち一千万は軍需工場及び軍需部門に動員してゐるといふ。そのほか、人的資源が苦しくなるにつれて若年の男子勞務者を補充するために少年の動員も計畫し、女子も十八歳から二十歳まで強制的に動員活動に参与することになり、用法も考慮されてゐるが、實現は困難とされてゐる。以上のやうに、各國とも女子が生産前線に動員してゐる有様は全く目ましきりである。大和撫子たるもの、奮起、奮あるべからずといひたいところである。これまでの挺身隊も官の指揮で結成され、國家の要請で出動したものであり、勅令はたこれより法的に明確化また強化したものであるから、將來、殆んど變つてこないとはいつて

よい。戦時に必要とされてゐる。一億人の生産戦士が明らかになつたこと。二、動員管理が動員令が法的に完全になつたこと。三、動員しないのに出動に應じないものには、就隊命令が發せられること。四、官の指揮動員による女子挺身隊にも同様の法的な保護がなされる等の諸點である。主に動員される女性の對象は、原則として十二歳以上四十歳未満の未婚者となつた。これと、これまでのやうに、家にふら／＼してゐる者だけが挺身隊員になるといふ考へ方は間違ひで、現在動めてゐる女性でも、さらに重要方面に轉換が望ましい場合には、隊員に選抜されて出動することになる。除外される人は軍の作業員、軍管理工場、軍需會社に勤めてゐる人、臨時職業委員に指定された人、厚生大臣が指定した五十歳以上の重要な業務に従事してゐる人、家庭生活の報酬たる人、身障が弱くて動員に堪へない人だけである。地方長官は適格者と認められた女子挺身隊員を審査する。これは男子の動員令と同様であり、これが交付されても出動しない者があれば、さらに隊員命令が發せられる。就職命令に違反すると國家動員法に問はれて、一年以下の懲役または千以下の罰金に處せられる。また工場に對しても、地方長官が國家總動員法に基づいてゐる／＼と指導命令するが



天 雲 石川 繪 介
奮戦する大和撫子の姿に、今も感動を



輸送線路に逐々しく出動した女性たち。國産代用車自家用車を自在に回して小銃役に活躍する（東京東區豊島区内）。

池に落ちて車の整備や修理の業務も自分の手で（同上）。

まさに闘争、同じく戦線内の女子軍需は、機軸に一致の清風をそよべ、乗客の騒動の的

以上、簡単に説明したが、女子挺身隊令の公布で、女子挺身隊が今後どう變るかを説明した。勅令の制定は、いはゞ決闘下、皇國女子をして眞にその愛國の至情を盡さしむるに遺憾なきを期した政府の處置である。さて、全國の女性よ、殊に年若い女性よ、平がて輝かしい勝利の曉、貴女がたは、それぞれ妻となり、母となるであらう。そして貴女がたの功やんやお嬢ちゃんやんが國民學校に入る頃、貴女がたにせがむやりになる。「おかあさん、戦争の話をして下さい」。そのとき貴女がたは、どんな話をするか。生活が苦しかった話か、おん／＼も全く食へられなかつた話か。いや、貴女がたが汗で闘ひつた戦争の體驗でなければならぬ。しかしそれは何といふ榮光と誇りに充ちたものであらうか。子から孫へ、傳へ承けてゆく本當に貴い寶である。いまその寶が、至るところで貴女がたの發掘の手を待つてゐる。

選 きし 年二十

承認記念日に當りて

駐日滿洲國全權大使 王 九 卿

紛々たる群衆を排して親邦日本が滿洲國を承認し、不磨の條約、日滿協定書を調印したのは、ちやうど十二年前の九月十五日である。我が滿洲國は日滿共同防衛の大義によつて大東亞戦争

を闘つてゐる

皇陛下は、八月三十一日、張國務總理大臣並びに武部總務長官と帝宮に召され「今や戦局愈々重大なり。この秋に當り親邦 天皇陛下、戦力を物心両面に充實すべき旨を訓させらる。全國官民は日滿の興廢は全東亞の興廢たるを深く認識し、一切の手段を盡し、戦争完

遂の一途に集中し、實踐躬行、以て天皇陛下の宸慮に應へ奉り、わが目的達成を期す」
旨を仰出され、また同日、第一線用陸海軍飛行機製作費として多額の御内帑金を陸海軍に贈與あらせられた。我が官民はこの有難き帝旨を體し、日夜、戦争完遂に邁進してゐる。戦局は今や決戦の關頭にあり、殊に樞軸陣營に

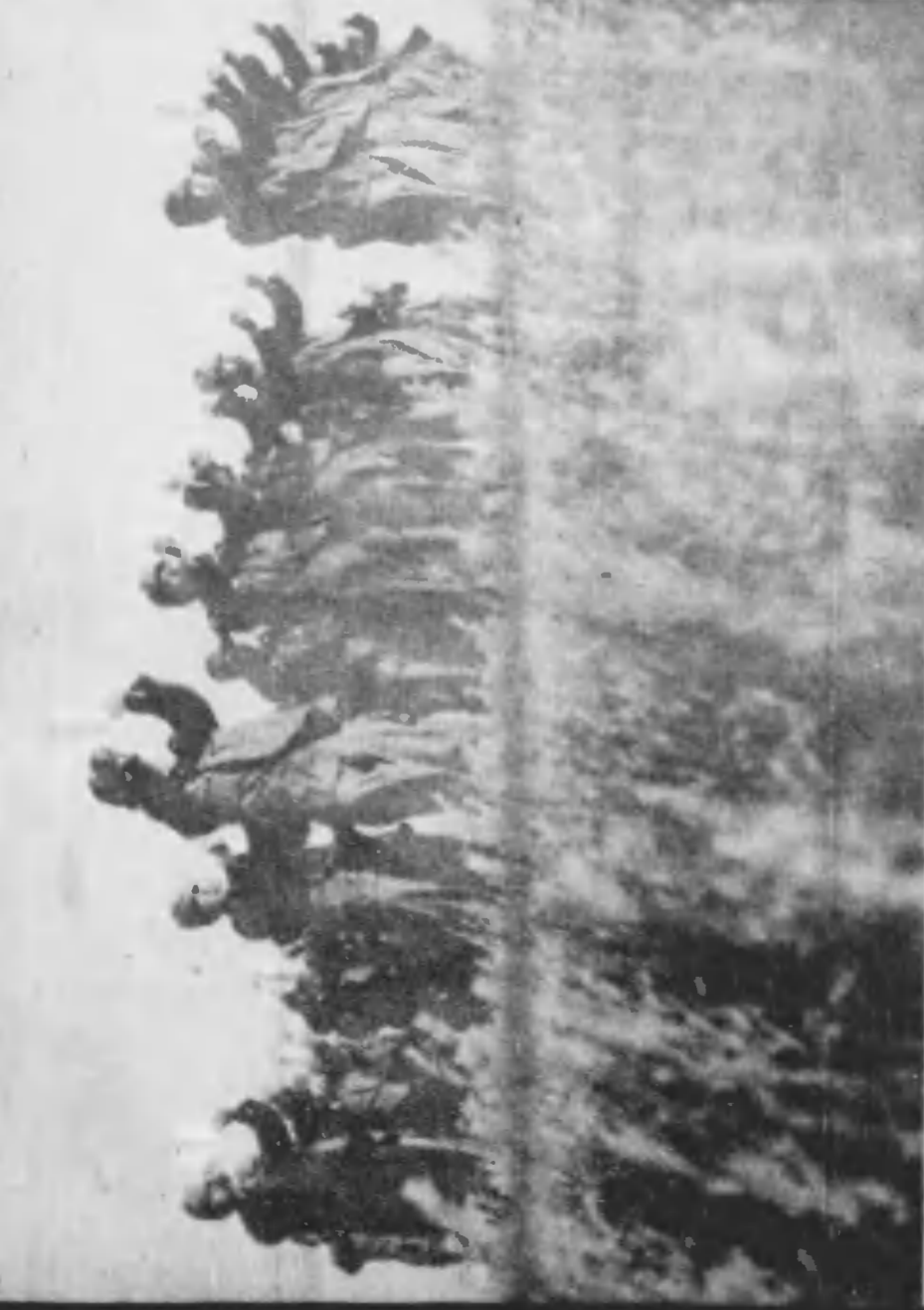
あいてはドイツの敢闘にも拘はらず戦況は必ずしも有利にのみ展開せず、その戦友は敵の誘謀謀略に乗せられ、相ついで離脱から離脱してゐるが、この間にあつて、道義に結ばれ一徳一心の關係にある日滿兩國は、死生存亡、断じて分擔せず、最後の完勝を確信しつゝ、この未曾有の危急に處しつゝ、あるは力強き限りである



八年前に開設された陸軍航空学校は、日本では中東亞東部から採用する。こゝを出て日本の航空士官候補に於んで、日本の飛鳥の翼をもちて滿洲國軍の発展に責任を負ふ



「えい！」烈風の気もともち彼の胸を、つんざく刺すのは皇軍の精神そのまゝだ
五色旗の下に精進する生徒は、日滿共同防衛の第一線に立つ自負がある



勳勳を承認して、ひなすらで御奉公の誠を傾きと誓ふのみ



滿洲國の誕生は陸軍航空学校。國會に來た内閣を驚かせる選々しきとは、五族協和の真意に身をまかす誇りがこもつてゐる

九月十五日 滿洲國承認記念日

滿洲の空を見よ。そこには建國十二年、歩武も亦々と進しく成長した滿洲國がある。兵燹地として、全面的に對日寄與をしつゝある滿洲國では、鐵、石炭、輕金屬、食糧の増産を四超重點國策として、大東亞戦争の完遂へ邁進してゐる。しかも鐵資源、電力、努力など生まれた立地條件に加へ、わが國の優れた技術の指導によつて、鐵、石炭、輕金屬の増産は着々實績が上つてゐる
また食糧は五風十雨の天の恵みもあつて、近年にない大豊作であつた去年の後をらけ、今年はさらに五分増收の見込みが十分で、糧食出荷によつて親邦日本に移出できようといふ額もした。なほ今年から明年にかへ、二十四万町歩の農地造成を行ひ、日滿を通ずる食糧自給を確立しようとしてゐる
日滿一丸となつた明るいこの春こそ、大東亞全土の心強い未來を示してゐるではないか

撮影 滿洲報社

週同點描

大都市における生鮮食料品の不足を緩和するため、政府は八月二十九日、従来の公定價に動性を付せんとする措置を發表、翌三十日より直ちに實施した。他の物價に比べて生鮮食料品は従来あまりに價格に開きがあつたが、全國の積値は必ずや生産者の供出意欲を高めることにならう
×
相次いで糧食増産を遂ぐ小國を以て、いま

ひなすら我局轉換の期を、國邦ドイツの養育悲壯。内閣防衛の利をもつて、戦ひ得るだけ戦つて時を待たせんとする積進を發表、翌三十日より直ちに實施する日の近きを一俣で斬らう
×
國といふく本土に近道。敵の本格的襲撃や謀略に直面する重大事に対して、糧食は一致、國土防衛態勢を整へることになつた。これは先ん決定をみた國民總武裝の態となるもので、三月三日の擴大行事を全國各地にくりひろげた



繊維の力で へ力戦を

週報

静岡の或る女学校では近くの紡績会社へ生徒動員したが、少しも能率が上らない。原因は當然ゆくものだと想つてむね、本飛行機会社にはゆけずに、紡績工場へ働くことになつたからだといふ。ところが数日して自分たちのつくるものが軍の砲弾になることを聞かされ、翌日から能率はぐんと上り中には夜業まで申し出る女学生がでてきた。

世間の繊維工業に対する認識もこの範囲を出てゐない。標で飛行機に乗ることではできない、といふ分りきつた事實が知られてゐないのだ。今日では衣料のみに限つてゐない。製紙の原料や煉炭、落下傘、薬袋、網、帆布、羽布、精製兵器の部等、一々挙げれば限りがない。自動車や航空機のタイヤを

造るのに繊維がなくてはならぬものだといつたら驚く人があらう。いまや繊維は戦争のあらゆる面に活躍してゐるのだ。

現在のわが國の繊維工業は人々の認識不足と莫大な需要との間に立つて、日夜、文字通り血の出るやうな苦闘をつつてゐる。

大空に疾く自衛隊の落下傘、激しい労働から身を護る作業衣。ここにはいかに多くの繊維に汗する人々の努力と丹誠の日夜が織り込まれてゐることであらうか。

繊維工業として航空機工業に劣るものではない。繊維はたしかに今日では「戦線」であることを今こそはつきり知らうではないか。

みんなの努力の賜の繊維工業を振興し、これはまた後の多くの人々の汗の結晶の花、スフ、羊毛、人絹とともに、用途に依り需要と供給されてゆく。陸軍省研究所



◻ いままで農具としてかへりみかしのタマゴキアカン、イラクサなどが、船や飛行機をつくつて下さる人々の作業衣になつたり、ケース、軍手になるのだと聞いて、ヨイヨイは夏草のいふれも物は、せつせつと野生草の採集——東京蒲田、青森郡米田町、国民学校児童



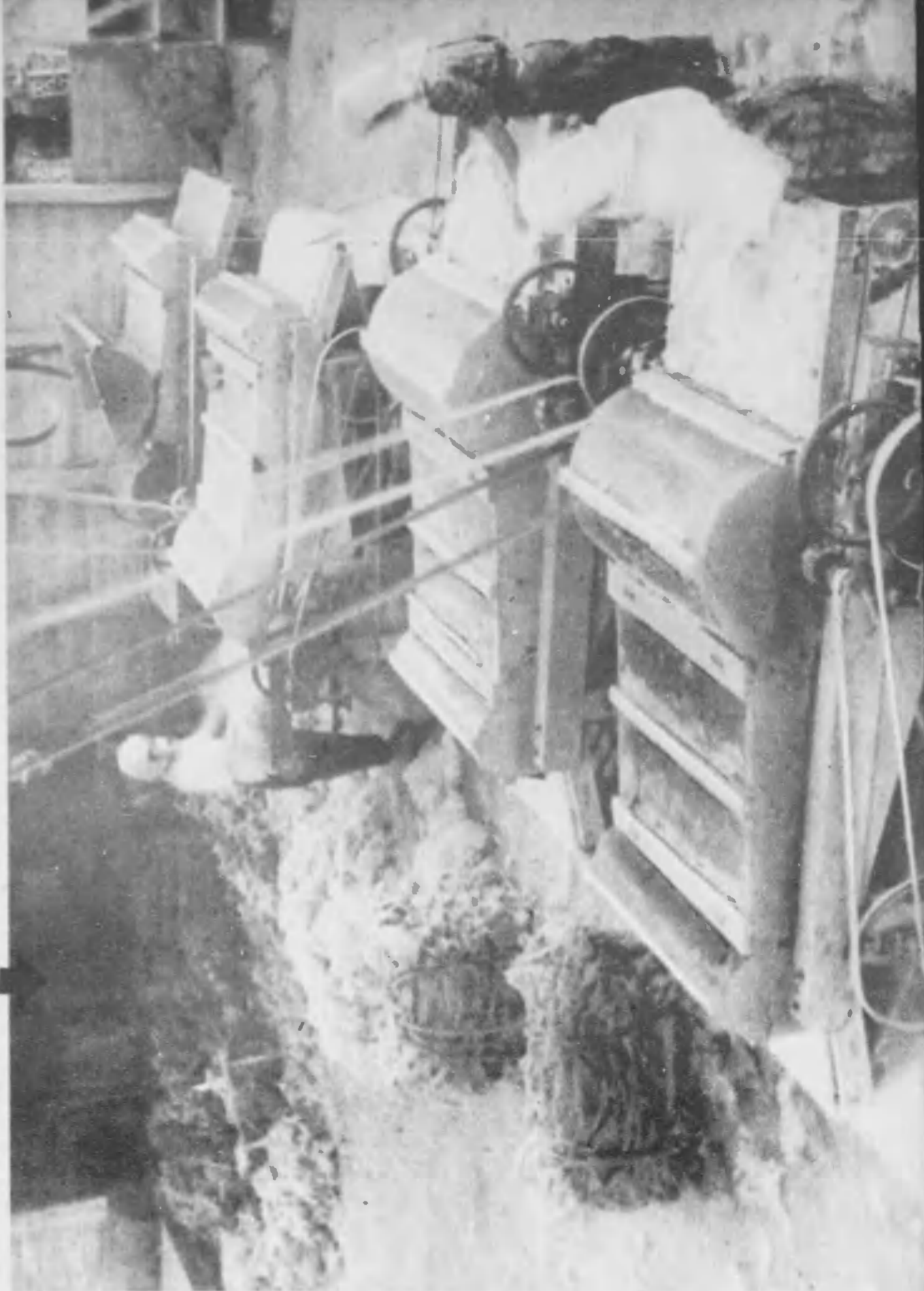
◻ ヨイヨイを採つた野生草は紡績機の工場に運ばれる。染めしめたこれらの繊維は数日のあひだ乾燥所で乾燥させられ、うすいヤルカリ溶液で染られる——静岡県、青森縣雄物川工業会館



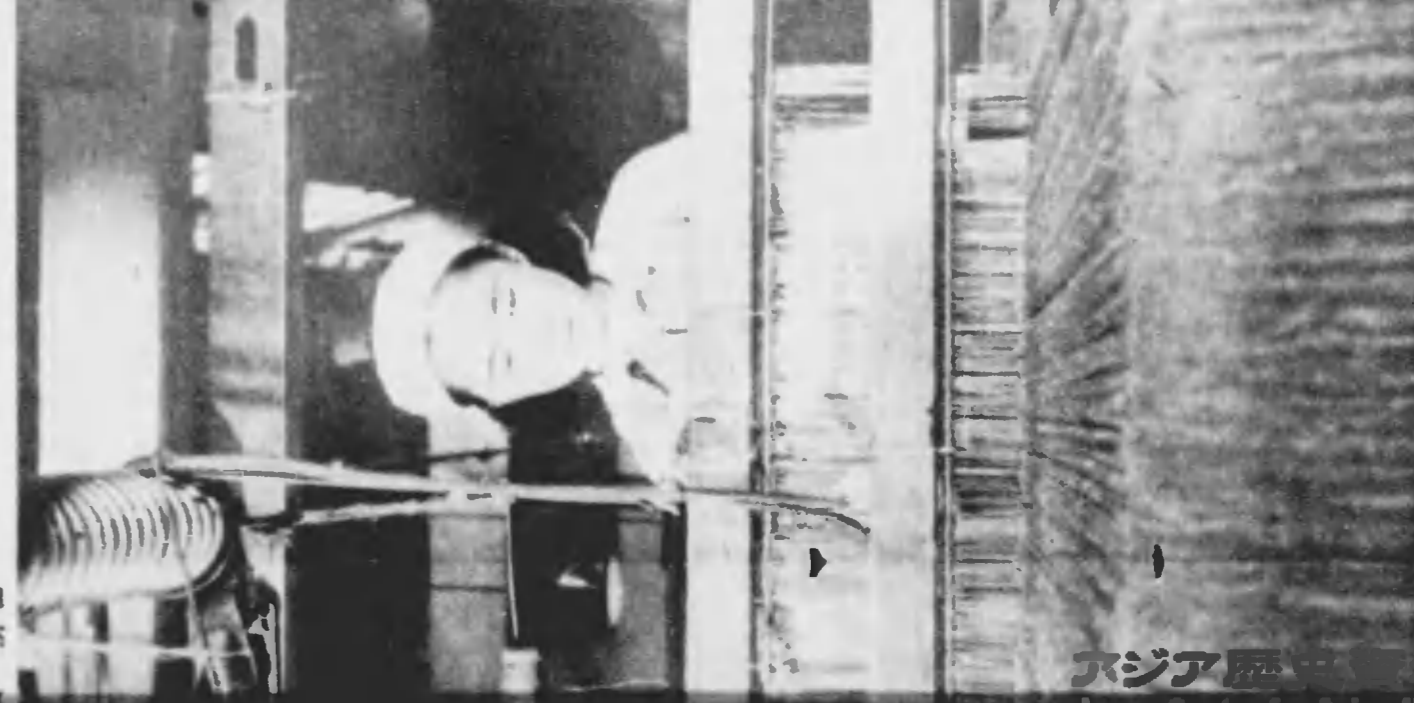
◻ 衣の業は一瞬間に手に入ります。その後の業からは成をとる。これも昔ながらの業になるのだとヨイヨイも感嘆だ——長野県佐野郡相模村、国民学校児童



◻ 染めものを叩いて乾らなくし、これを水洗ひした後に乾し上げる（同上）



◻ 乾かしものは湿度の長さに切直し、反電機といふ機械にかけて織状とする。これを紡績機にかければ糸になる（同上）



繊維へ力

の原料や機織、蒸下傘、襪、靴、帆布、羽布、絹糸、綿糸の部

品、一々製すれば限りがない。自動車や航空機のタイヤを

取もろくに取らざるを得ない。しかし本年産の目標五千三百万貫の達成を目ざし、組織上では決して組織に不自由はかけまいと懸命です。(西條隆雄氏談)

かに今日では「産業」であることと今こそはつとも知らずで

はないか
みんなの努力の賜の産物と見れば、これはまた他の多くの人々の汗の結晶の花、スプーン、羊毛、人間とともに、同じに愛ひ抱きに抱かれてゆく。西條隆雄氏談

トランプで遊びぬまれる裏面は、自給も乏しい女子工員や縫身隊の人々
の手で製成せられ、〇百本も並んだ動力ミシンの流れた作場であらう立派な工場
とわかる。海玉屋製靴 東京製靴会社



蘭

よく知られて工場内を駆けつづる山。蘭製工業では努力の天恩となりかひなく、現況つて
なる。自分たちの運命が女子工員や縫身隊の利益などになると聞いて、女子縫身隊員も蘭製の女子工員
に負けぬ覚悟をもちます。日本製靴工業

